



# まつど未来づくり会議

～松戸の強みを活かした未来への指針づくり～

## 第4回ワークブック

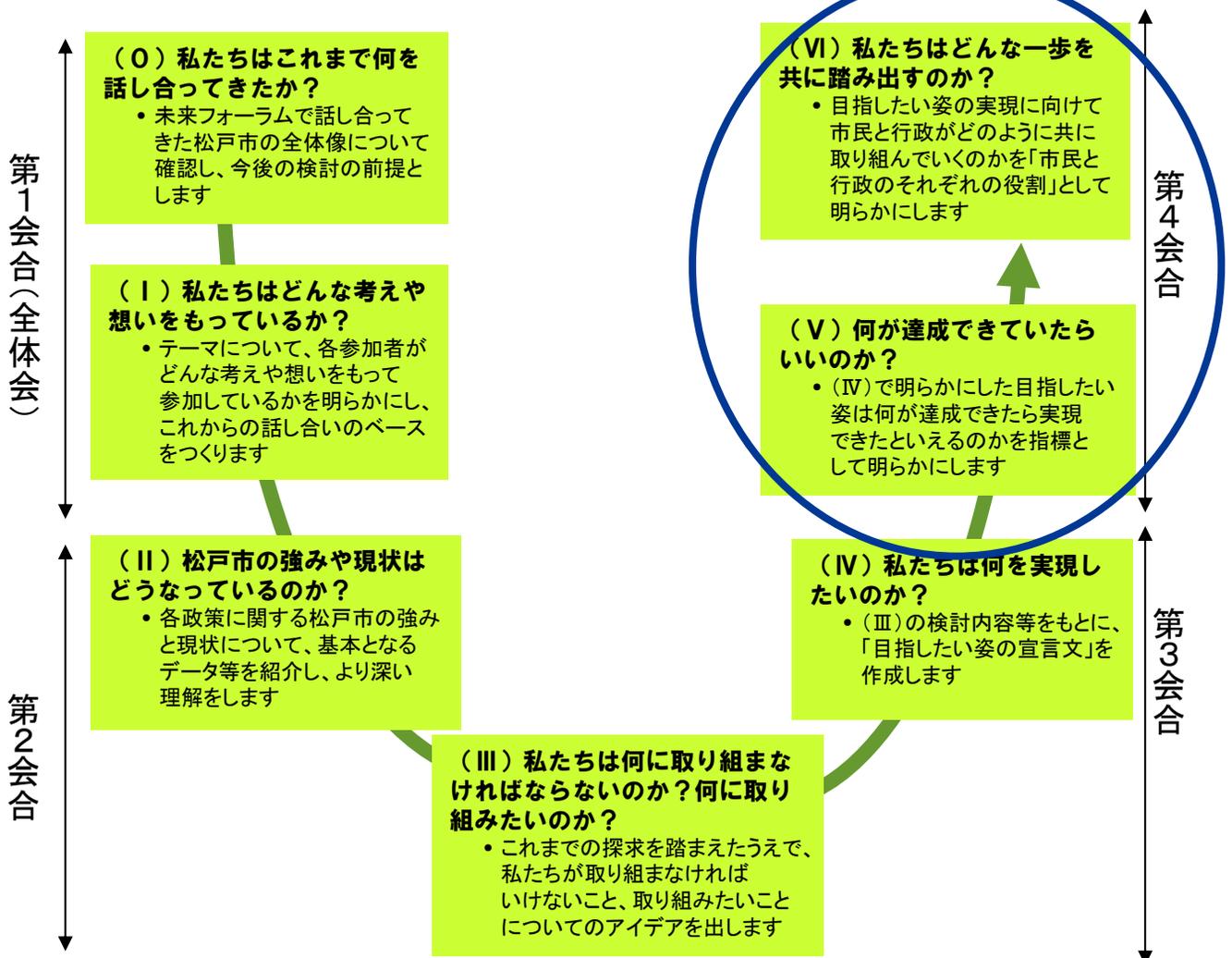
平成21年10月 日

お名前: \_\_\_\_\_

# 第4回のねらい

- 「市民と行政のそれぞれの役割」と「指標」の検討
  - 第3回で検討した宣言文に書かれた「目指したい姿」の実現に向けて、「市民と行政のそれぞれの役割」と「指標」を検討します

## 未来づくり会議で探求を深めるプロセス



# 第4回の内容・進め方

- 内容

- オリエンテーション

- ねらい、進め方の確認
    - チェックイン

1. 「目指したい姿の宣言文」の確認
2. 「市民と行政それぞれの役割」と「指標」の素材検討
3. 「市民と行政それぞれの役割」と「指標」の作成
4. 強調したい・伝えたい具体的な提案・メッセージの検討
5. 全体会での発表についての確認
6. チェックアウト

- 話し合いのルール

- 全ての意見に価値を置く
  - 人の話をよく聴く
  - 想いや考えは全体で共有する
  - 時間厳守
  - 未来に焦点をあてる

# チェックイン

- 「今の正直な気持ち」や「気になっていること」などを一言、1分以内で話してください
  - 順番を決めないで、話したいと思った人から始めます
  - 人の発言に対して、質問したり突っ込んだりしないでください
  - 無理に笑わせたり、受けねらいに走る必要はありません
  - 素直な発言によって、相手をありのままに受け入れやすくなります

# 1. 「目指したい姿の宣言文」の確認

- 目的
  - 前回検討した「目指したい姿の宣言文」を確認する
- 進め方
  - 前回検討した「目指したい姿の宣言文」の内容を分科会で確認します
    - 前回、宣言文の作成までは至らなかった政策については、事務局でまとめた案を作成してきています。そちらも併せてご確認いただきます

# 「市民と行政それぞれの役割」について

- 「市民と行政それぞれの役割」とは
  - 目指したい姿の宣言文を実現するために、市民と行政それぞれが、どのような役割を担い、どのように関わりあっていくのかを指針としてまとめたもの
  - 市民と行政に期待したい「態度や想い方」「行動(取り組み)」などを具体的に示したもの
- 「市民と行政それぞれの役割」を作成するねらい
  - 市民と行政が目指したい姿に向けて施策を検討したり、サポートを行ったり、協働する際の指針を明らかにすることができる
- 作成するもの
  - 市民の役割
    - 目指したい姿の実現に向けて、市民の役割として、期待される態度や行動(取り組み)
  - 行政の役割
    - 目指したい姿の実現に向けて、行政の役割として、期待される態度や行動(取り組み)

# 「指標」について

- 「指標」とは
  - 政策ごとに作成した「目指したい姿の宣言文」の達成状態を表すための尺度
  - 「市民と行政それぞれの役割」を推進することで、高めていきたいこと
- 「指標」を作成するねらい
  - 達成イメージがより明確になる
  - 目指したい姿を実現するために、具体的に何を行っていけば良いかが検討しやすくなる
  - 指標に照らして、政策がうまくいっているか、いないかが理解でき、進行状況を確認できる
- 指標の表現例：
  - ○○度、○○件数、○○率、○○回数、○○の数値、○○の平均値、○○の順位、○○の割合、アンケートなどの5段階評価の得点など
    - 目指したい姿の宣言文：「子どもたちが自らの将来の目標を持ち、その実現に必要な知識や経験を得られるようにする」
    - →指標：「目標をもって学校生活をしている児童生徒の割合」...etc

※なお、指標については、本日検討したものがそのままの形では、計画に活かせない場合もあるかもしれません。ただし、松戸市がどんな達成状態を目指すべきかを検討する指針とさせていただきますので、この分科会の中ではぜひオープンに提言いただければと思います

## 2. 「市民と行政それぞれの役割」と「指標」のアイデア検討

- 目的

- 「市民と行政それぞれの役割」と「指標」を検討するためのアイデアを出す

- 進め方

- 個人検討(10~15分程度)

- 各政策の「目指したい姿の宣言文」を実現するために、市民と行政にどういう意識をもって、どういう行動をして欲しいかを考え、「市民の役割」「行政の役割」として検討します。思いついたものを、ポストイット1枚に1件ずつ自由に書いてみてください
- また、それらの「市民の役割」「行政の役割」を果たしていくことで、何が高まっていったらいいのかを考え、それらを「指標」として表してみてください。こちらも思いついたものをポストイット1枚に1件ずつ自由に書いてみます
- ポストイットは何枚書いていただいても結構です
- 所定の時間内に、担当する全ての政策について、アイデアを出していただかなくてもかまいません。特に自身の関心が高いところから始めていただき、時間内で出来る範囲で作成してみてください
- これらをもとに、後ほど全員で検討を行いたいと思います

- グループ共有(2分程度)

- 個人で作成した素材を模造紙に下記の要領で貼り出し、共有します

政策3: 健康に暮らすことができるようにする

目指したい姿の宣言文:  
「一人一人が目的を持ち、一日を過ごすことができるために…」

市民の役割:

行政の役割:

指標案  
(何が高まっていたらいいと思いますか?)

# 3. 「市民と行政それぞれの役割」と「指標」の作成

- 目的

- 素材をもとに、政策ごとに「市民と行政それぞれの役割」と「指標」を作成します

- 進め方

- 政策ごとに検討を行っていきませんが、検討の順番は第3回の分科会
- (前回)と同様で進めていきたいと思います
- 各政策ごとに以下のプロセスで検討を行います

## 【市民と行政それぞれの役割の検討】

- 市民と行政の役割の欄に貼られているポストイットを眺め、感想や質問などを通じて背景を共有します
- 必要に応じてポストイットを整理したり、まとめてみてください
- ある程度背景共有ができれば、まとめられた項目ごとに、分科会案として採択するかを決定します。それぞれ項目ひとつずつに手上げを行い、過半数を超えていたら分科会案として採択できればと思います
- 最後に、採択されたもの全体を見て確認します

※なお採択されなかった案についても、検討の記録には残させていただき、参照とさせていただきたいと思います。分科会案としては採択されなかったかもしれませんが、ご自身が重要だと感じたことですので、ぜひご自身のできるところから取り組んだり、周囲に働きかけていただけたら幸いです

## 【指標の検討】

- 指標についても、市民と行政の役割と同様の進め方で検討します
- ひとつの政策が終わったら、次の政策に移ります。原則として時間内に全ての政策について検討を行いたいと思います

## 4. 強調したい・伝えたい具体的な提案・メッセージの検討

- 目的
  - 検討プロセスで生み出された、特に強調したい・伝えたい具体的な提案・メッセージを検討する
- 進め方
  - ここまで分科会の中では、提言事項として「目指したい姿の宣言文」「市民と行政それぞれの役割」「指標」の3つを成果物としてまとめてきました
  - これまでの検討プロセスを振り返ると、この3つの枠組みでは表現しきれないが、とても重要で、ぜひ全体に対して提言してきたいことがあるかもしれません
  - そうしたものを「強調したい・伝えたい具体的な提案・メッセージ」として検討してみたいと思います
  - これまでの話し合いを踏まえて、オープンに話し合い、分科会としての案を考え、まとめてみてください
    - 提言の仕方は各分科会で自由に検討してください
    - 「特に強調したい・伝えたいこと」がない場合は、無理に提言に載せなくても結構です

## 5. 全体会での発表についての確認

- 全体会(第5回未来づくり会議)のお知らせ
  - 日時
    - 平成21年11月7日(土)14:00~18:00
  - 会場
    - 商工会館5階ホール
  - 目的・概要
    - 各分科会で検討してきた内容を全体に発表し、未来づくり会議の提言とする
    - 発表内容について、他の分科会メンバー、市民、行政職員からフィードバックをもらい、検討する
- 分科会の発表について
  - 発表時間:
    - 各分科会10~15分
      - 政策数の多いグループ(4~6)は15分、少ないグループ(2~3)は10分)
  - 発表の内容
    - メンバー構成、話し合いの雰囲気等(写真も交えて)
    - 各政策ごとの成果物
      - 目指したい姿の宣言文(なぜ、そうした宣言文が生まれてきたのか、そこにどんな想いが込められているのか)
      - 市民と行政それぞれの役割
      - 指標
      - その他の提言事項
    - 今回の取り組みの意義・感想(分科会長として)
    - その他
  - 発表の準備
    - これまで話し合ってきた内容をもとに、分科会長と事務局で発表内容を検討します
    - 発表内容について、ご意見のある方や、協力したいという方は、事務局までご連絡ください

## 5. チェックアウト

- 今日の感想を一言